

地域日本語教室運営者・コーディネーター向け研修/国際交流ラウンジ協議会日本語分科会合同研修会

どうしていますか？教室運営 ～実践から考える グループのこと、活動のこと～ 実施報告書

主催：(公財)横浜市国際交流協会

地域日本語教室の運営やコーディネートをを行う立場にある人たちが、日本語教室での活動をふりかえり、また、参加者同士の情報交換等を通じて、気づきや学びを得、今後のよりよい活動につなげることを目的とした研修です。学習者もボランティアも共に大切にする、自分達らしい教室づくりと一緒に考える機会となることを目指しました。

この研修では、4人の参加者に、新たなボランティア受入れの工夫など、教室での実践事例を提供していただき、それをもとにグループでの意見交換・情報交換を行いました。グループメンバーを変えた2セッションを行うことで、より多くの人とやりとりをすることができました。

また、講師からの講義では、ボランティアマネジメント・コーディネーションに関し、教室運営では学習者だけではなく、ボランティア・スタッフも含めたニーズを受けとめて把握すること、そして、つながることが難しい時期だからこそ、希望者を活動につなぐことの大切さを伝えていただきました。日本語教室に限らず、ボランティア団体の運営を考える上で役立つ内容だったと思います。

参加者のみなさんからは「色々な角度からの意見がきけて有意義だった」「多くの人と知り合いになれた」「(今後に向けて)心が軽くなった」などの声をいただきました。



参加者の声

●各教室での取り組みがそれぞれ工夫されていて参考になった。視点を変えてみるのも新しい発見があることに気付いた。

●多くの日本語教室関連の方とお知り合いになりました。それぞれの工夫を知ることができました。

●ボランティアコーディネートに関するやり方を組織だてて説明いただいた。

日時

2024年2月16日(金) 10:00～12:30

場所

横浜国際協力センター 6F 共用会議室

講師

妻鹿ふみ子さん
(東海大学健康学部教授、
認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター
協会代表理事)

対象

- ・横浜市内の地域日本語教室の運営やコーディネートをを行う立場にある人
- ・日本語支援での企画運営等のコーディネートをを行う人

参加者数

20人(うち国際交流ラウンジ11人)

内容

- ・日本語教室の実践事例を共有するグループワーク
- ・ボランティアコーディネーションに関する講義
- ・参加者同士の情報交換、情報共有



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

どうしていますか？教室運営

～実践から考える グループのこと、活動のこと～

はじめに

今回は、市内13の日本語教室・国際交流ラウンジの方が集まりました。まず、日本語支援の背景となる横浜の外国人住民の状況やYOKEの地域日本語教育の取組を確認しました。続く参加者自己紹介では、テーマに合わせ「教室・運営で大切にしていること」「強み・課題と感じていること」などに触れました。

実践事例検討 「教室運営、私たちの工夫」

ここから、講師の妻鹿ふみ子さんの進行です。まず、ボランティアコーディネーションでの「受けとめる」「つなぐ」についてミニ講義がありました。スタッフ、利用者、ボランティアのニーズの受けとめと把握、また、「受けとめる」ことは外からの働きを受けて対応する・取り組むことであり、相手の言うとおりにする、ということではない、などを確認しました。

【セッション1 「教室運営、私たちの工夫」】

グループ内での実践事例検討を行いました。深い情報共有を通じて、運営上で大切にしたいことや活動のヒントを得ることにつながるものです。4教室の参加者が予め用意した事例をグループ内で発表し、やりとりで深めました。

<事例（テーマ）>

- ・「学習者さんの出欠の把握について」（学習者）
- ・「誰もが引き受けやすい、教室リーダーにするためには」（教室運営）
- ・「ボランティア会員を増やすにはどうするか」（ボランティア）
- ・「オンライン日本語教室への、日本語ボランティアの体験参加」（学習内容やプログラム）

最後には各自が「教室運営がうまくいく、私のはっけんベスト3」を、紙に書き出しました。

【セッション2】

事例提供者をグループに残してそれぞれが別のテーブルに散らばり、新たなグループとなりました。メンバーでの自己紹介、事例提供者の簡単な事例紹介ののち、さきほど書いた「私のはっけんベスト3」を紹介しあい、それぞれの気づきに学びました。

「私のはっけんベスト3」の一部

新規ボランティアをしっかりとサポートする / 新しく入った人の視点を大事にする / 失敗を許す / （学習者の）出欠連絡はどこも苦労しているな / イベントの豊富さ / （日本語に）レベル差があっても、本人がづらくなければOK。聞くことも大切

ふりかえり

講師から、本日の各実践事例のポイントを、先の講義内容にあてはめて解説していただきました。実践が理論とつながり、今日のセッションそのものが「学習者もボランティアも共に大切にする、自分達らしい教室づくりのヒント」を考える場になっていることに、改めて気づきました。

皆様、熱心なご参加ありがとうございました！



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

